



大阪湾生き物一斉調査

実施内容

大阪湾の沿岸で活動する団体の協力を得て、府民と一緒に大阪湾内の各地の生き物の一斉調査を体験することで、身近な水域での生き物を通じて、沿岸生態系への気候変動の影響などを考えます。

POINT

自ら調査し、気候変動による生態系への影響を実感してもらうことで、大阪湾の環境等について考えるきっかけを提供します。

留意点

- ・安全面を考慮し、多くのスタッフ(監視員を含む)が必要。
- ・天候に左右されるため、中止時の連絡体制や対応などを決めておくことが望ましい。



平均所要時間 調査地域・団体による	定員 調査地域・団体による
準備物 海浜のフィールドワーク準備	実施団体 環境団体等



▲堺浜自然再生ふれあいビーチでの調査

*ハンドブックP14,15もご覧ください

海辺の教室

実施内容

水産技術センターの調査船「おおさか」に乗船し、海洋観測として、水色調査や透明度調査を実施したり、海中のプランクトンの採集・観察を通じて大阪湾の状況について考えます。

POINT

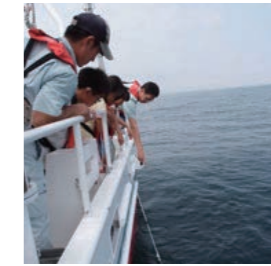
- ・研究機関の調査を体験することで、より本格的な経験や知識を得ることができます。
- ・気候変動による生態系への影響を実感してもらうことで、大阪湾の環境等について考えるきっかけを提供します。

留意点

- ・海上での船酔いがあるため体調管理に留意。
- ・転落防止の配慮が必要。
- ・天候に左右されるため、中止時の連絡体制や対応などを決めておくことが望ましい。



平均所要時間 調査による	定員 10名
準備物 調査船、検査・観察キット等	実施団体 自治体



▲透明度調査



▲プランクトン観察

*ハンドブックP14,15もご覧ください



楽しい水辺教室

実施内容

実際に水辺で水生生物を採って観察したり、水質の簡易調査をして、身近な生き物や水環境について考えます。(地曳網で魚採り、水生生物採集、生き物解説、川の水质調査等)

POINT

- ・川の水の匂い「嗅覚」、パックテストを使用した水質の透明度「視覚」など、自分自身の感覚で実感しながら川の状況を学びます。
- ・自ら調査し、気候変動による生態系への影響を実感してもらうことで、河川の環境等について考えるきっかけを提供します。

留意点

- ・あらかじめ潮位や天候状況の調査が必要。
- ・草刈りなど開催場所の整備が必要。
- ・行政等への事前許可申請(河川敷使用許可申請や特別採捕許可申請等)が必要。
- ・安全面を考慮し、多くのスタッフ(監視員を含む)が必要。



平均所要時間 2時間	定員 100名
準備物 透明のプラコップ、比色票、マドラー(ストロー等)、パックテストなど	実施団体 自治体



▲投網体験



▲パックテスト

*ハンドブックP14,15もご覧ください

コラム 暮らしの中での「適応」2 災害に備えよう

情報を集めよう

日ごろから正しい防災の知識を身につけるように心がけ、住んでいる地域の防災メールに登録しましょう。

地域の防災情報を知ろう

住んでいる地域のハザードマップや避難場所を確認して、どこでどんな災害が起こる可能性があるか、いざという時にどこに避難すれば良いかを家族で話し合しましょう。避難訓練、救護訓練などの防災訓練には、積極的に参加しましょう。

おおさか
防災ネット

ハザードマップ、
河川のカメラ
画像など



天気の急変に備えよう

警報や雨雲レーダーなどを確認して、短時間豪雨や落雷に備えよう。



*ハンドブックP16,21もご覧ください